

『通信生の英語トレーニング奮戦記』インタビュー 第2回

English Trainer 購読歴 創刊号(2004年9月)から開始
Rikaさん(東京都・女性)

(松尾) さて、本日は6時間集中講座「English Booster」へのご参加、お疲れ様でした。

(Rika) とても刺激になりました。(笑) English Trainer を4年間続けてきたので、私も、トレーニングに慣れたかと思いましたが、まだまだ。そんな事はありませんでした。音読スピードは遅いですし、音読筆写の速度も、皆さんの方がはるかに早い！

独りで学習を続けていると、どうしてもトレーニング方法が自己流になりがちです。今回、English Boosterに参加することで、正しい基本型に立ち返る事ができて良かったです。講義では3ヵ月の学習目標だけでなく、最終目標についても設定する機会があり、今まで目指していた目標より更に1段高く目標設定することもできました。



(松尾) English Trainer は次号(第17号)で4周年目を迎えます。創刊号からスタートした Rika さんご自身も、きっとこの4年間、様々な努力があった事と思います。Rika さんにとって、トレーニングを続ける「コツ」とは？

(Rika) キーワードは「定型化」だと思います。

English Trainer には、定型化された目標レベル別のトレーニングメニューがあります。これさえあれば、効果や方法で悩んだりする事なく日々淡々と練習を繰り返す事が出来ます。この定型パターンの確立が習慣化の鍵だと思います。英語トレーニングでポジティブ思考になれるという点も、続けられる秘訣ではないでしょうか。トレーニング前に上手く聞き取れなかった英文が、30分の音読で、驚くほどクリアに聞こえたと、自分の中に達成感が生まれます。この「楽しい！」「嬉しい！」気持ちも、翌日のトレーニングのステップになるんです。何事も辛いと思う行動は続きませんから…。また、English Trainer で磨いた基礎力を、身の回りの英語素材で試してみることも達成感を得る上で大切なポイントだと思います。訓練でスラスラ理解できる感覚を、実戦でも出来るか試すことで、自信につなげます。素材選びは「映像」「音声」「文字」のバランスを大切に、組み合わせるよう心掛けています。映像では主に海外ニュース、YouTube。音声では洋楽を聞いたり、熱唱したり(笑)。最近では、ネットから様々な音声ダウンロードが出来るので大変便利です。ビジネス系のレクチャーから童話の朗読まで、ありとあらゆる音声が入手できます。次々に流れる英文も、集中して聞けるリスニング力をこうした英語素材で鍛えています。文字の素材選びはなかなか難しいのですが、技術系の専門書を中心に、細かい情報を掴むように精読を意識しています。一方、インターネットの技術系サイトも活用し、自分にとって必要な情報を探るように、大量かつ高速で読む速読も試しています。

(松尾) なるほど、幅広く英語素材の組合せておられますね。ところで Rika さんの、現在の TOEIC スコアは？

(Rika) 自己ベストは、780点です。

(松尾) ちなみに、English Trainer でトレーニングを始めた時の TOEIC スコアは？

(Rika) その自己ベストをマークした時ですよ。English Trainer でトレーニングを開始したのは、目標とする800点を突破するためでした。

(松尾) TOEIC 初受験時のスコアは？

(Rika) もう10年ぐらい前にさかのぼりますが、580点前後だったと思います。当時は派遣の仕事をしなが、いつか英語を使う仕事に就く事を目標としてその腕試しに受験してみたのです。正直、スコアをみたとき大ショックでした。英語は得意とまで行かなくても、苦手ではなかったつもりだったので(笑)。仕事で使える英語力として、700点突破を目指していましたので、まだまだ先は遠いなぁ…。と。

(松尾) 苦手ではなかった…。Rika さんの英語学習歴が気になります。

(Rika) 小学の時、近所に英語が出来る同級生がいて、その友達のお母さんから英語を教わったのが私が英語と出会った最初の経験です。その時使用していた教材は、日本語の解説が一切なく、全て英語で書かれており今から思えば画期的でした。中学生になると、授業で英語を習うのですが小



学校時代に英語に触れていたお陰もあって楽しみながら、先生の声を真似ながら教科書を元気に音読していました。高校に進学すると、授業中の難解な文法解説と英作文には苦しめられました。英文を読む事には、むしろ楽しさを感じていてリーダーのテキストは好んで勉強していました。早い段階で英語に触れていた事で、苦手意識を抱くことなく高校を卒業できたことはとてもラッキーだったと思います。

(松尾)その後、実力アップに向け取り組んだ事は？

(Rika) 英会話学校に大枚はたいて入学しました(笑)。

後は仕事における英語の必然性でしょうか？

当時、外資系の半導体ベンチャーの企業で、ユーザへの技術サポートの仕事をしていました。英語で問い合わせのメールを書いたり、大量の英文メールを読む機会が増えたのです。英会話学校と仕事での実戦を繰り返した結果、700点を突破することができましたが、英語で業務をスムーズに遂行するためには、800点以上の実力が必要だと痛感しました。

(松尾) 実戦で英語力を鍛え上げた Rika さんが、自己学習に比重を置くようになったきっかけは？

(Rika) 勤務していた会社の日本撤退により、職場環境が変わった事と、

出産と育児で仕事を一年ほど休んだのが大きなきっかけとなりました。出産育児の

休暇中に、家族以外の人間とあまり話さない生活が長く続いたせい、

英語はおろか日本語も滑舌が悪くなってしまっていて…。そこで、仕事と家事・育児の合間に出来る自己学習教材として、English Trainer を始めました。そもそも、英語はトレーニングという考え方は、千田潤一先生の著書、「TOEIC テスト スコアアップ体験記」(ジャパントイムズ)を読んで知っていました。音読しながら高速で書く音読筆写は、これまでの自分自身の学習経験と照らし合わせると、確かに、無意識のうちに実践していましたので、その学習方法や効果をすんなりと理解できたのです。ただ、いざ行動に移すまでは、トレーニングの定型化とトレーニングに適した教材選びで苦勞していました。そんな時に、鹿野晴夫先生の「TOEIC テスト 900 点を突破する集中トレーニング」(中経出版)に出会って、これまで部分的に理解していたトレーニング法が理論的に整理されました。ICCの発行するメルマガで、English Trainer の創刊される事を知ったときは、これはトレーニングを実践するチャンス!と思い、すぐに申込みましたよ。

(松尾) English Booster で、トレーニングの最終目標をスコアという形で設定されましたが、具体的なイメージや理想像を教えてください。

(Rika) トレーニングを開始した当初は、漠然と英語が話せれば良いと思っていましたが、

より具体的に、留学や海外出張に必要な英語のスキルを身につけた

と思います。今後、海外の大学で行われている遠隔教育プログラムを

受講しようと思っていますので、TOEFL 受験も視野にトレーニングを続けます。

最終的には、英語を使った仕事に再チャレンジしたいですね。

英語のために英語を学習するのではなく、英語を通じて、何かを伝えるために、

何かを学ぶために学習しているのだと思って、これからもトレーニングしていきたいです。

(松尾)Rika さん、今日はありがとうございました。



English Booster

土曜日(10:00~17:00)開講

English Trainer の使い方と、様々な英語素材を使ったトレーニング方法を学ぶ講座です。ほぼ毎月開催で、毎回全国から参加者が集う人気講座です。トレーニングの方法がしっかりと確認でき、モチベーションが高まります。初めてスクーリングに参加される方には、こちらの講座をおすすめします。

講座の詳細は >> http://www.icconsul.com/koka/oneday_b.html



講座・会場案内

東京メトロ 赤坂見附 or 永田町より徒歩 3 分

丸の内線、銀座線 赤坂見附駅

有楽町線、半蔵門線、南北線 永田町駅

東京都千代田区永田町 2 丁目 14 番 2 号

山王グランドビル 3F ICC 東京本校

電話 : (03)3593-1362

HP: <http://www.icconsul.com/>

